

教室名：祝吉地区子どもふれあい教室

連絡先：都城市教育委員会生涯学習課
電話：0986-23-9545
FAX：0986-25-1043

1 活動の概要

対象学校名	都城市立祝吉小学校	主な活動場所	祝吉地区公民館
開設時間 年開設日数	火・水曜日 午後2時～5時 月1回土曜日午前中 年76回開催	対象学年 平均参加人数	1～6年生 30人
【主な取組】 学習支援（通年）昔遊び（通年）季節の行事（7月・12月・2月）栽培活動（通年）大自然の中で遊ぼう（7月）料理教室（8・12月）ミニ運動会（9月）お年寄りとの交流（11月）創作活動（1月）地区文化祭へ参加（11月）環境学習（6月）感謝の気持ちを伝える（3月）			
【連携・協働している機関】 民生委員児童委員、祝吉地区内の各企業及び福祉施設、各小中校及び高校			
○地域学校協働活動推進員（コーディネーター） 1人 ○協働活動推進員 0人 ○協働活動サポーター 5人			

2 特色のある取組の紹介

「親子・子ども同士・地域の方々とのふれ合いの充実！」



《ここがイチオシ・教室自慢！》

- ・ 地域の方々の特技の伝達を通して、体験の喜びを体感し、お互いの交流を深める。

○ 活動内容

（平日の活動）

- ・ 学習→室内遊び→室外遊び→生活指導。教室に来て午後4時までは、宿題や宅習に取り組む。早く終わった人は、読書や室内遊びを楽しむ。
- ・ 午後4時以降は公園を含む外遊びを楽しんでいる。

（休日の活動）

- ・ 食育の一環として、冬の風物詩である干し柿作りを体験し、干し柿の作り方を覚える。



【干し柿作りの様子】



【干し柿のできあがり】

○ 事業を実施して（参加者の声）

- ・ 子どもふれあい教室で、干し柿作りをしました。まず、ピーラーで柿の皮をむきました。最初は難しかったけど、どんどん慣れてきました。ひも結びは簡単で、すぐ結ぶことができました。柿を早く食べたいです。（児童）
- ・ 私は、子どもふれあい教室の干し柿作りは4回目です。何回も作ったことがあるけど柿の皮をむく時、初めて包丁でむきました。先生のをしてみると簡単に見えたけど、実際にやってみると、思ったよりすごくむずかしかったです。10分ぐらいかかってやっと1個むけました。先生が「むいた皮をなめてみてください。」と言ったので、なめてみるとすごくしぶかったです。こんなしぶ柿が、どうして甘くなるのかなと思いました。（児童）